

有年の空

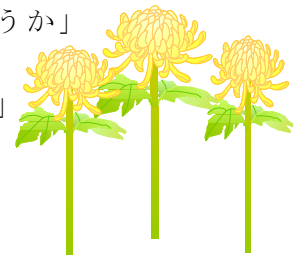
文責 塩田 進 TEL49-2081

< 今月の俳句 >

「マラソンの ゴールで見上げる 青い空」

新しく開店したお店へ行くと、店員さんがマニュアルにそった元気な言葉かけをしてくれます。一見、お客さんにていねいな言葉を使っているようですが、少しおかしいと感じたことはありませんか。たとえば、

- ・レジで品物を渡すと、「商品はこちらでよろしかったでしょうか」
これは、「商品はこちらでよろしいでしょうか」でよい。
- ・続いて、千円札を出すと「1000円からお預かりします。」
これは、「1000円、お預かりします。」でよい。
- ・また、「こちらが領収書になります」
これは、「こちらが領収書でございます」がよい。



両方を比べてみると、どちらが正しく敬語を使っているかがよくわかります。

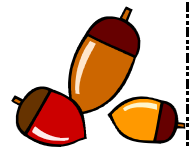
< 第6回有年小俳句大会から >

- ・ドングリが ころころおちて こまったな
- ・秋の空 雲が飛行機 追いかける
- ・句作りを子等と楽しむ菊日和

< 1年 前川 まなか さん >

< 6年 藪林 いつき 君 >

< 有年文芸 中川 喜久子 さん >



グリーンスクール表彰校に

特色ある優れた環境教育の実践を進めている、兵庫県7小学校の中の1校に選ばれました。

西有年の森で、地域の方々と一緒に枝打ちをしたり、木を植えたりしている活動が、優れた環境体験活動であると評価されました。

12月16日に、神戸の県公館で、表彰式があります。3年生の学級代表2名が有年小学校の代表として出席します。

昨年の緑の少年団最優秀賞受賞に引き続きとてもうれしいことです。

< 先生のコーナー >

今回は音楽と家庭科の 高瀬 智子 先生です

先日のふれあい音楽会に、たくさんの方々がお越しくださりありがとうございました。

1・2年、3・4年、5・6年と2学年合同での発表で、学年を越えて助け合いながら、合唱や合奏の練習に励んできました。

当日は、子どもたちの生き生きとした演奏、PTA コーラスの皆様心のこもった歌声に胸が熱くなりました。

有年小学校のすばらしさを感じた一日でした。



★ 今年も大変な年でしたが、師走になりました。先人が、過去の多くの危機を乗り越ってきたから、我々が今の豊かな時代を生きていられる。同様に、私たちは、次世代の子どもたちのために、なんとか頑張るってこの危機を乗り越えていかなければなりません。